

尾道市公共施設等総合管理計画 個別施設計画

大分類： 9 行政系施設

中分類： 17 その他行政系施設

令和3年3月

広島県尾道市

(総務課・維持修繕課)

【目次】

- 1 個別施設計画策定の趣旨及び概要
 - (1) 策定の趣旨
 - (2) 計画概要と計画期間

- 2 対象となる施設一覧及び概要
 - (1) 対象施設一覧
 - (2) 対象施設配置図
 - (3) 対象施設の役割

- 3 各種分析結果
 - (1) 劣化状況
 - (2) 安全性（耐震性、危険区域）に関する状況
 - (3) 機能性（施設設備、環境性能、バリアフリー等）に関する状況
 - (4) 利用状況
 - (5) コスト状況

- 4 今後の基本的な方向性
 - (1) 現状と課題
 - (2) 今後の施設の考え方
 - (3) 検討すべき方向性と実施時期

1 個別施設計画策定の主旨及び概要

(1) 策定の趣旨

尾道市が保有する公共建築物やインフラ資産は、今後、大量に更新時期を迎えます。厳しい財政状況や人口減少等による利用需要の変化等が見込まれるなか、公共建築物やインフラ資産の長期的視点による更新統廃合等を計画的に実施し、財政負担の軽減と平準化及び施設の適切な配置を実現する必要があります。

尾道市は、国が策定した「インフラ長寿命化基本計画」及び「公共施設等総合管理計画の策定にあたっての指針」に基づき、平成28年度に「尾道市公共施設等総合管理計画（以下、「総合管理計画」という。）」を策定しました。

総合管理計画の4つの基本原則とこれを踏まえた実施方針、施設類型ごとの管理に関する基本方針に基づき、個別施設計画（以下、「本計画」という。）を策定しました。

(2) 計画概要と計画期間

本計画は、総合管理計画「第4章 施設類型ごとの管理に関する基本方針」で規定される施設類型「4-9 行政系施設」のその他行政系施設について、施設の現状、役割、課題を整理し、今後の各施設の基本的な方向性及び考え方を示したものです。

本計画に基づく各施設のあり方の具体的な検討や実施については、議会及び市民との問題意識や情報の共有化を図りながら、取り組むこととします。

計画期間は、総合管理計画と同期を図るため、本計画策定時から令和28年度までとしますが、社会情勢の変化や社会的ニーズに基づき、必要に応じて計画の改定を行うとともに、各期（短期・中期・長期）に改定を行うこととします。

2 対象施設の一覧及び役割

(1) 対象施設一覧表（別紙1）

(2) 対象施設配置図（別紙2）

(3) 対象施設の役割

各防災倉庫は、水防資機材や食料、生活必需品等を分散備蓄している施設であり、非常災害時の救助作業や応急処置、避難者支援等のために、とても重要な役割を果たしています。

松岡倉庫は、道路や水路等の緊急修繕に速やかに対応するための補修用資材等を保管している施設です。

教育会館は、教育委員会の事務室として使用しています。

3 各種分析結果

(1) 劣化状況

原田水防倉庫は、昭和50年に建設された中央公民館原田分館の中にあり、建築後40年以上が経過し、老朽化が進んでいます。その他の防災倉庫については、平成8年から平成22年に建設されていますが、老朽化はあまり進んでいません。

松岡倉庫は、建築後50年程度経過しており、老朽化が進んでいます。今後は経過観察を行い部分的な補修をしながら利用していく必要があります。

教育会館は、昭和56年に建設された建物で、老朽化が進んでいます。

(2) 安全性（耐震性、危険区域）に関する状況

原田水防倉庫と松岡倉庫は、旧耐震基準の建物で、耐震診断や耐震改修も未実施であり、大きな地震への備えは十分とは言えません。また、原田水防倉庫については、土砂災害警戒区域に指定されています。その他の防災倉庫は、新耐震基準の建物ですが、尾道市水防倉庫、御調東部防災倉庫及び御調中央防災倉庫については、洪水浸水想定区域に指定されています。

教育会館は、旧耐震基準の建物で、耐震診断や耐震改修は未実施のため、今後耐震診断を行い耐震補強の必要性や耐震改修の方法等を調査します。

(3) 機能性（施設設備、環境性能、バリアフリー等）に関する状況

倉庫は、出入口のみバリアフリー化されている施設があります。

教育会館は、出入口へのスロープ設置や多目的トイレの整備は済んでいます。

(4) 利用状況

各防災倉庫は、応急処置のためのブルーシートや土のう袋、避難所用の毛布や食料等を備蓄しており、必要に応じて搬出し、補充しています。

松岡倉庫は、建設資材等を保管しており、必要に応じて搬出し、補充しています。

教育会館は、教育委員会の事務室として常時使用しています。

(5) コスト状況

防災倉庫の維持管理に必要な経常費用は、5施設合計で光熱水費が約5万円です。

松岡倉庫は、維持管理費用が発生していません。

教育会館の維持管理に必要な経常費用は、年間約400万円で、主なものとして、光熱水費、施設の保守点検費などがあげられます。

4 今後の基本的な方向性

(1) 現状と課題

各防災倉庫や松岡倉庫は、保管場所として十分に機能を果たしており、当分の間は軽微な修繕で維持管理が可能です。ただし、原田水防倉庫については、中央公民館原田分館の一部であるため、分館の今後の状況によります。

教育会館は、建築後40年を経過し老朽化が進んでいますが、教育委員会の事務室として今後も継続して使用するため、計画的に建物の長寿命化を図るなど、効率的な維持管理と安全性の確保が求められます。

(2) 今後の施設の考え方

各防災倉庫や松岡倉庫は、緊急時等の対応のために今後も必要な施設ですが、備蓄内容や備蓄量、設置場所等について、適切で効果的な対応ができるよう、適宜検討していく必要があります。

教育会館は、今後も長期に継続使用するため、施設の点検や予防保全の実施など、長寿命化を図り、トータルコストの削減に取り組む必要があります。

(3) 検討すべき方向性と実施時期（各施設毎の詳細は別紙3）

いずれの施設も継続して使用する施設であり、計画的な予防保全により、施設の長寿命化を図ります。

別紙1 (対象施設一覧表)

No	施設名称	所管	所在地	主たる建物の建築年	延床面積 (㎡)
1	原田水防倉庫	総務課	尾道市原田町梶山田4073	S50	51.86
2	尾道市水防倉庫	総務課	尾道市美ノ郷町三成2717	H22	165.05
3	御調東部防災倉庫	総務課	尾道市御調町大蔵松原	H8	34.00
4	御調西部防災倉庫	総務課	尾道市御調町丸門田1484-15	H8	34.00
5	御調中央防災倉庫	総務課	尾道市御調町大田39	H14	104.67
6	松岡倉庫	維持修繕課	尾道市栗原町11494-2	S46	18.19
7	教育会館	総務課	尾道市久保二丁目21-12	S56	926.84

別紙2 対象施設配置図



別紙3（検討すべき方向性と実施時期）

No	施設名称	基本的な方向性	短期計画							中期計画		長期計画	
			R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R09~R13	R14~R18	R19~R23	R24~R28
1	原田水防倉庫	検討	現状維持	⇒	検討								
2	尾道市水防倉庫	現状維持	現状維持	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
3	御調東部防災倉庫	現状維持	現状維持	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
4	御調西部防災倉庫	現状維持	現状維持	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
5	御調中央防災倉庫	現状維持	現状維持	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
6	松岡倉庫	現状維持	現状維持	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
7	教育会館	改修・更新	現状維持	⇒	⇒	⇒	改修・更新	現状維持	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒